

2024\_0806「北斗七星と北極星（天体写真）」日々の理科 3652号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

関東地方付近の緯度では、北極星はもちろん、北斗七星もほぼ一年中観望可能です。従って北斗七星は「いつの季節の星の並び」とは言いません。あえて言えば、春の季節の星の並びです。北斗七星は春の夜8時～9時頃に、北極星から見て右側（東側）に柄を下にした状態で縦に登って来るからです。夏の北斗七星は北極星の左上に斜めに見え、真夜中頃には地平線すれすれに寝たように見えます。関東地方では一部の恒星は地平線下に沈みます。

先日、小諸市郊外で見た北斗七星は、まさにこの状態でした。電柱の左上にある輝星が「北極星」です。三角屋根の民家（最近建ったどなたかの別荘）が構図を面白くしています。遠くの稜線上の灯火は「高峰高原」のホテルで、これも面白いです。「十字路」の道路標識は、いかにも邪魔ですが、私はこういうものが写りこむのも好きなのです。

(2024年7月下旬／長野県小諸市)

